

介護事業部 ヘルパーセンター 好事例シリーズ③

「本人も家族もヘルパーも
不安なく入浴できる」

～事例分類～

健康状態 / 理解・行動 / **ADL** /
家事・IADL / QOL / 介護状況

ヘルパーさんとのかかわりが
どんな変化をもたらしたのか、
読んでみるまも♪

まもりん



スライド全7枚

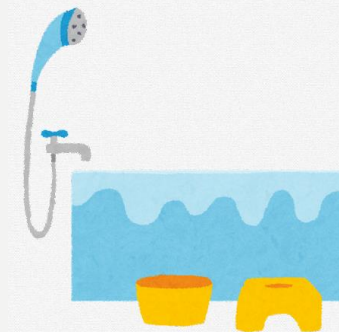
【事例情報】

○70歳代後半 ○女性 ○介護度4

【Before】令和2年8月頃

8月某日の退院前は気弱になり、階段の昇り降りも不安と口にしていました。本人は退院したい気持ちはあるものの介護を受ける量も増え、食欲も落ちていたところで「外泊後に、そのまま退院になってしまうかもしれない」と言っていた。実際その通りになってしまうのだが、自宅での入浴については可能かどうか実際に検証してみないとわからない状態での退院だった。


退院後は、階段や段差はゆっくりと自分のペースで移動していたが、膝折れの心配があり、段差での足の上がりなかなか進まない状態であった。入浴動作も膝折れに加えて体の硬さが強く、入浴するには良いとは言えない動きであった。また、入浴介助はヘルパー、妻との二人体制であったが、家具が邪魔をして十分なスペースがなく、介助する側が不安定な状況だった。



【After】令和2年9月頃

介助するスペースが広くなり、介助自体大変ではあるが、介助する側の動きやすい環境になり、万が一本人に膝折れがあっても二人でしっかり支えられるようになった。

経過

障害要因・背景	サービス・ケア内容	サービス提供のねらい
本人の体の硬さ、膝折れが心配	訪問リハビリのあとにヘルパーが入浴介助を行う。 	訪問リハビリで動きをよくするとともに、そこで入浴が可能かどうかの判断をしてもらえるようにした。
介助する環境が悪い(脱衣所がキッチンにあるため、電子レンジを置いている棚があり、介助しにくい状況)	環境整備	妻とヘルパーが二人で介助しているが、不安定な介助にならないようスペースを作った。

事例提出者からのアピールポイント①

項目	内容
<ul style="list-style-type: none">妻へ環境整備の提案介助が安定するまで主任ヘルパーが同行訪問	<p>本人は介助があるので安心して入浴できていたが、介助する側の環境が整っていなかった。妻とヘルパーの介助を見つつ、脱衣所となる台所の環境整備を訪問のたびに提案していった。</p> <p>お互いにケガをしてしまったら在宅生活自体が難しくなることや、今後長くヘルパー介助で入浴介助をしていきたいことなどについて説明を繰り返した。</p>
担当者会議	<p>リハビリの評価(動きが良くなる、入浴できるか判断材料になる)が直接聞けるよう、訪問リハビリのあとにヘルパーが訪問するスケジュールにしてもらった。このスケジュールリングは今までもしていたが、更に強化してもらう意図もあった。</p>

事例提出者からのアピールポイント②



項目	内容
サ責が担当	<p>今まで担当していたヘルパーが退職となったことが本人にとって大きな不安材料となり、それが動きにも出ている状態だった。新しくサ責が担当として活動に入るもなかなかコミュニケーションがとれず、本人も不安な様子を表して不機嫌になってしまうこともあった。</p> <p>お互いにぎこちなく不安な介助になっていたが、回数を重ね、主任ヘルパー(=私)が同行を繰り返すことで、少しずつ安定的な介助方法が確立されてきた。</p> <p>サ責は毎週活動後に「ここが不安だった」、「ここは上手にできた」等しっかりと報告してくれるので、改善に向けての検討もスムーズだった。主任ヘルパーの介入が介護技術やコミュニケーションの改善はもちろん、我々の熱意を伝える機会となり、少しずつ利用者さんも安心してもらっているのではと思った。</p>

□事例へのコメント□

ご本人やご家族の不安を解消するために、ご本人の身体的・精神的な状況や家庭内の環境をしっかりと把握し、環境の整備やリハビリのスケジュール調整など最適なサービスを提供をしている。尚且つヘルパーの変更に伴うご本人とヘルパーの不安に対しても繰り返し適切なフォローをしており、ヘルパーは慢性的に人員が不足しているにも関わらず、客観的に見て利用者ひとりに対して『ここまで時間をかけてやってくれるのか』という驚きと、ヘルパー・サービス提供責任者の皆さんの苦労を少し理解できました。今回の事例からは皆さんの仕事に対する責任感や情熱を強く感じる事ができました。

【札幌市社会福祉協議会 施設福祉部】



私たちと一緒に 働きませんか♪

ヘルパー募集のご案内はこちら！



社会福祉法人札幌市社会福祉協議会
介護事業部

お友達を紹介して
ほしいまも



まもりん